



(1) 国民の声を反映して、學問、思想の自由を守り、平和のための研究を進めてやこうと掛けている良心的な科學・技術者を結集して、田口名以上の民主戦線の統一候補者の當選をみることができた。

この良心的な科學・技術者の総意は、選舉が終った後に、「學術と守る会」を結成した。政府は、學術会議の御用化に失敗したが、なおこれを民間に移しよつて、無力化しようとしている。

さらに、軍事研究に対して、すみやかに科學・技術者を協力させることに躍起になつて、科學者の登録カードを需要したり、科學研究費の額を据置いて、基礎的な研究を圧迫する反面では、保安隊の兵用地図の作成、シエット戦の工ジンの研究、保安隊の磁気探査の研究などを大學や研究所にもどこんできた。

このよき条件のもとで、ビキニの水爆実験が行われた翌日、三月二日の国会に保守三党からされた予算修正案の中に、原子炉を作るための予算二億三千五百万円と、カラニナムの採鉱のための予算一千五百万円とが、計上されたのである。

こうしたいきさつを振返つてみると、原子炉予算が計上されたことは、國民に唐突な感じをあたえているが、決して無計画に出でられたものではない。既に一年から準備されていたもので、予定の計画として考へられていたものが、表面に出た、十分すぎない。

政府が原子力研究をとおして意図しているものは、つぎの如くあるといえよう。

(1) 原子力発電により日本電力産業を支配し、原子力発電をすかつて日本の資本を再編成する要石とする。

(2) ヴチニケム資源を開發し、アメリカへ売りつけ、外貨ー子の実現、MSA協定によるアメリカの使い古した兵器を獲得する。

(3) 産業の再編成と結びついて、科學・技術者との動員体制をつくりあげる。

(民主主義科学者協会編集「理論」六月号より)

（民主主義科学者協会編集「理論」六月号より）

無知浅才な私には、聯想が重荷ではあつたが、

か重荷ではあつたが、その發言がこの心に

弱さというものに高邁なものをを感じ取られ

た。あの發言がこの心に断定的に受け取られ

1954.7.8

旅行



あーあ、松島や

○—去る一日から五日までの三年生の東北地方へ。○
○—かけては二年生が美しき森山へ、四日には—○
○—一年生本校附近へと今年の春の旅行も無事—○
○—終つた。以下は各学年の様子や感想など。—○

三年

一、二年の初夏の遠足と時を同じくして、三年生の東北地方への修学旅行が六月一日から五日間行われた。毎年修学旅行には関西方面へ行く機会が多いが、東北にはこんな機会をとらえてかつたが、三年生の各クラスの討論の結果関西へは比較的に行く機会が多いが、東北にはいく以外はないからといって、東北地方への松島—平泉—千和田湖のコースに決められた。

車

中で一泊のため、みんな良くな眠れず、仙台へ

ついて、いざ松島へと

ゆうになつても、教

入の着用を遅れる

仕事、眠気を朝の塩釜

みな所かと失望しきり

だつた。あーあ、松島

や松島へ着く。こゝでは

みんなが松島へと

途中の景色を見ながら

そのままなから

が霧を通して見られた

。バスは海岸を走つて

天気にたゞられて、遂

に空しく、真青な湖水

が霧を通して見られた